

公益社団法人私立大学情報教育協会

平成 26 年度第 1 回 CCC 美術・デザイン学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時：平成 26 年 7 月 22 日（火）10:30～12:30

II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：有馬委員、井澤委員（遠隔）、久原委員、宮田委員（遠隔）

[事務局]井端事務局長、森下主幹

IV. 配布資料

- ・平成 25 年度第 2 回 CCC 美術・デザイン学グループ運営委員会 議事録概要
- ・公益社団法人私立大学情報教育協会 平成 26 年度事業計画書
- ・平成 26 年度 CCC 芸術系グループ運営委員会名簿
- ①平成 26 年 CCC 美術・デザイン学グループ運営委員会の活動計画
- ②対話集会に関する検討事項(メモ)
- ③対話集会に向けた検討事項について

参考 1：用語集

参考 2：長崎大学 教育イノベーションセンターアクティブラーニング事例集 1

参考 3：長崎大学 教育機能開発センター紀要第 3 号付表 1 P82~P85

参考 4：学ぶ育む 大学の實力現場を歩く「双方向型授業」読売新聞 2014. 2. 7

参考 5：「学長アンケート」日経新聞 2014. 4. 7

参考 6：「営業戦略」「海外進出」日経新聞 2014. 2. 6

追加資料

芸術系の美術・デザイン教育における教育改善モデルへのご意見について(お礼) 文書

V. 議事概要

1. はじめに公益社団法人私立大学情報教育協会平成 26 年度事業計画書の説明があった。
2. 平成 26 年度 CCC 芸術系グループ運営委員会名簿については変更がないことが確認された。
3. 事務局より、英語分野の報告と以下参考資料 3 件の詳細説明があった。

参考資料 2：長崎大学の「経営と経済」について PBL、LTD、授業成果、授業展展開等、「精神看護学援助論」では、IBL 等の説明があった。

参考資料 4：北海道大学の双方向型授業は、北海道 6 大学で展開している等の説明があった。

参考資料 6：1 年生に対し難題な企業課題の取り組みと FSP 研究会についての説明があった。

4. 平成 25 年度第 2 回 CCC 美術・デザイン学グループ運営委員会 議事録概要について

① アンケートのご意見に対する返答については②の最終行の「文面を作成することを事務局に一任。」は「文面を作成した。」に訂正。

② 対話集会について

- ・26 年度から 3 年間行うこととし、1 年目は各委員会で開催、2 年目は分野別グループで開催し、3 年目ポータルサイトとプラットフォームの検討に入る。
- ・参加対象は、加盟大学の教職員とする。

- ・次回の委員会で話題提供者を決める。
- ・実習系だと事例が多い。学内完結型と学外の社会との接点型等の分類をしておく。

5. 当日別紙③の対話集会に向けた検討事項について

① 開催内容について

話題提供として、事例発表は強調しない。

② 開催日程

平成 27 年度春期休業中とし、3 月 2・3・7 日のいずれか 1 日とするが、日程は会場の都合を優先して決定する。

開催時間は 14～16 時の 2 時間（前後の準備・後片付けの計 2 時間が別途必要）

③ 開催場所について

東京工芸大学と東京家政大学が候補に上がり、東京家政大学板橋校舎に決定。

④ 話題提供の内容について

委員から 2 件は提供する。1 件は宮田委員のワークショップ、もう 1 件は次回の委員会で決定する。

⑤ 実施スケジュール

14:00～14:10 挨拶と趣旨説明

14:10～15:00 能動的学修（アクティブ・ラーニング）の取り組み事例紹介

15:00～15:20 学士力を実現するための教育改善モデルの紹介

15:20～16:00 話題提供、授業改善モデル、さまざまな方策をもとに教育改善にむけた意見交換

16:00 課題の整理と閉会

6. 次回委員会

9 月 10 日（水）10:30～ 当事務局 会議室

各委員は、当日話題提供についての案・資料等を用意する。

以 上